

錦城祭・球大の中止が決定



332号
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2020

みんなでつくる
錦城高校新聞

秋季球技大会・
錦城祭の中止が決定。
今の錦城生の思いを
集めました。

錦城生悔しさを語る

8月25日(火)に中止することが発表された今年の錦城祭と球技大会。これを受け、これまで開催の為に尽力してきた錦城祭・球技大会の実行委員や生徒に話を聞いた。

錦城祭を形に残したい

「錦城祭が中止になるかも、錦城祭実行委員長の渡邊沙羅さん(2A)。副委員長の清水

凛音さん(2C)も「休校期間中から時間をかけて準備してきたので残念でした」と悔しさをにじませる。

(編集部共同取材)



昨年の球技大会の様子。惜しくも中止となってしまったが、一人ひとりが今できることを考えている



「例年とは違う錦城祭を形に残したいです」

「コロナが終わったらやりたいこと」を錦城生全員が書いて、保健室前に貼る取り組み

は、行う予定だそう。清水さんは「コロナにはマイナスなイメージがありますが、今年ならではの錦城祭を形に残したいです。今後どのような取り組みをするかについても検討していきます」と意気込む。

2人は錦城生に向けて「錦城祭は中止になりましたが、すべてをゼロにするのではなく、今までみんなが準備してきたものが形に残るようにしていきたいです。ご協力お願いします」と熱いメッセージを送った。

錦城の大きなイベントが2つも中止になり、錦城生からたくさんの「悔しい」「悲しい」という声が聞こえてきた。しかし、そのような中でも今できることを懸命に考えている錦城生がいる。錦城高校新聞はこれからも、錦城生の声を取り上げていく。

「例年とは違う錦城祭を形に残したいです」

「例年とは違う錦城祭を作り上げ、錦城生に楽しいなと思つて欲しかったです」と渡邊さんは思いを語った。

錦城祭は中止になったが、「コロナが終わったらやりたいこと」を錦城生全員が書いて、保健室前に貼る取り組み

「例年とは違う錦城祭を形に残したいです」

「例年とは違う錦城祭を作り上げ、錦城生に楽しいなと思つて欲しかったです」と渡邊さんは思いを語った。

悔しさを語る球大実行委員

球技大会中止を突然知らされた球技大会実行委員。各種目のルールや組合せを途中で決めていたそう。

実行委員長の伯勇貴斗くん(2E)は「体育の授業でも制限がかけられているので、球技大会も中止になるのではないかと半分思っていました。三年生は特に悔しいだろうなと思います」と話す。同じく副委員長の古閑丸陽子さん(2B)は「新ルールについて多くの時間をかけて、話し合いをしてきたので、中止になってしまつても悔しいです」と振り返る。

秋期球大で全校生徒の前でスピーチをする予定だった前期実行委員長の碓井翔くん(3J)は「ここまで先輩が受け継いできた球大を実施できないのは残念です。最後の一年で行事がなくなつてしまつた悲しさもあります」と語る。最後に伯くん、古閑丸さんは「秋の大会はなくなつてしまいましたが、来年の春の開催に向けて、気持ちを入れ替えて準備をしていけたらなと思います」と前向きに話した。

クラスでの交流の機会を

錦城祭クラス企画係を担当していた北村穂乃実さん(1)は「出来ることなら開催したかったです。多くの人と協力して準備した企画が出来なくなり、残念です」と話す。その一方で、準備の時間にクラスの人との優しさを知ることが出来たので、その時間は無駄ではなかったという思いもあるそう。「行事がなくなつても、クラスの人と仲良くなりたと思います」と今の想いを語った。

「楽しみにしていたので中止になってしまい残念です」と肩を落とす指田光さん(3H)。1学期の球技大会の中止になったことや、既にクラス企画などの準備を始めていたこともあり、錦城での最後の行事で思い出せないことにやるせない気持ちを抱えているという。勉強の合間の息抜きができるよう、クラスレクなど代替案を用意してほしい」と語った。



球技大会の中止を振り返る2人



オンライン新聞作成中!
Classi で配信しているので是非ご覧ください!